

県議会だより



新春を迎え、今年こそは「ウサギのように飛躍」を願っています。
さて、国民の多くが期待を込めた政権交代も、党内調整のゴタゴタや相次ぐ閣僚の失言、更に外交問題などで経験不足を露呈してしまいました。今更ながら、リーダーの重要性を感じているところです。
そんな中、新政権では新年度予算に対し財源問題等を抱えながら、通常国会を迎えようとしています。先行き不透明ではありますが、この際、超党派で国民の生活安定と福祉向上を最優先に全力で取り組んで欲しいと願うものです。

さて、12月定例県議会では、相変わらず厳しい経済雇用対策のため、国の経済対策と一体で実施する緊急的な事業や、中小企業の設備投資支援策、円高で苦しむ地場企業支援、職員給与等の過不足額など、総額242億8,359万2千円の増額補正など23議案が承認されました。その内、約100億円が県単公共事業です。

代表質問や一般質問では、「TPP問題」「北陸新幹線建設負担金の一部支払い拒否や全列車停車問題」などで、知事答弁に対し厳しい発言がありましたが、詳細は県議会HPを見ていただきたいと思います。(新潟県議会 URL <http://www.pref.niigata.lg.jp/gikai/>)

早いもので、私の任期も僅かとなりました。これまでの皆様の叱咤激励に感謝申し上げます。
この度の県議会だよりは、私のこれまでの議員生活を振り返り、県議会・常任委員会・特別委員会・日頃の地域活動について、ダイジェスト版ではありますが、ご紹介致します。皆さまも県議会の動きをもう一度振り返り、今後とも県政に対し深い関心を持ち続けていただきます事をお願いするものです。

年頭にあたり、引き続き私の政治信条であります「誰もが、どこに住んでいても、しっかり働く場があり、やがて結婚し、家庭を持ち、子育てや教育、福祉、医療など安心して生活できる社会基盤を構築する。」ことを目指して、これからも微力ながら議員活動に努力してまいります。

4年間を振り返って...

I 定例議会一般質問から

新潟県議会は、年4回(定例会)開催されます。一般質問の機会は年1回です。私の一般質問概要は、次の通りですが知事や各部長などの答弁は省略させていただきます。(詳細につきましては、新潟県議会HPをご覧ください。)

◆平成19年12月定例会にて.....

- 健康ビジネス連邦構想による新産業の創造に関連して
 - 高齢化した農業の担い手、荒廃農地対策に関連して
 - 新潟のブランド化に関連して
 - 交通のインフラ整備に関連して
 - 観光立件の推進策に関連して
 - 資源循環型社会の構築と森林資源の活用策に関連して
 - ブロードバンド等で情報インフラの整備に関連して
 - 健康寿命の推進と地域医療の確保策に関連して
 - 社会資本(県有資産)の維持管理計画の策定に関連して
- など19項目の質問。



地元傍聴者の皆さま

◆平成20年12月定例会にて.....

- 本県経済・雇用の現状と対策に関連して
 - 中小企業支援策として緊急融資、相談業務等に関連して
 - 非正規雇用対策、新規学卒者等の就職対策に関連して
 - 農業や建設業などへの支援策に関連して
 - 地上デジタルに対する高齢者や低所得者対策に関連して
 - 小中学校での携帯電話原則不所持対策に関連して
 - 地域医療と医師不足対策に関連して
 - 新型インフルエンザ対策に関連して
- など、22項目の質問



地元傍聴者の皆さま

◆平成22年3月定例会にて.....

- 長引く本県経済・雇用対策に関連して
 - 新潟県行政経営改革推進ビジョンの実践に関連して
 - 地域主権における地方税制度の取り組みに関連して
 - 公共事業削減で、地方が埋没する事に関連して
 - 上信越自動車道4車線化を国に要望すべき事に関連して
 - 観光振興に休暇取得・分散化の考え方に関連して
 - 雪のない諸外国への誘客とレルヒ100年祭り対策に関連して
 - 北陸新幹線開業に伴う並行在来線の諸課題への対策に関連して
- など27項目の質問。



II 定例会期中の常任委員会から

各定例会では、連合委員会や常任委員会が開催されます。連合委員会での質疑はありません。常任委員会は、毎年6月定例会後に改選されます。

現在、私が所属する総務文教委員会は2回目です。これまでの質問総計は46項目です。質問内容及び回答は省略させていただきますが、質問したことにより実現した内容も含まれています。

Ⅲ 常任委員会・特別委員会から

4年間を振り返って...

常任委員会では、年2回の県内行政視察（特色ある取り組みや問題箇所など）と年1回県外行政視察（当県の課題解決の参考に）を行っています。これまでに視察をした場所と、内容は次のとおりです。

常任委員会

【産業経済委員会】平成19年6月～平成20年5月

- 平成19年8月9日～10日 ・県内行政視察 ①月岡温泉観光協会・地震災害での風評対策
②燕市磨き屋一番館・巧みの技 ③寺泊観光協会の風評対策 ④越後製菓(株)の米粉活用
- 平成20年4月23日～24日 ・県内行政視察 ①佐渡市内の風浪被害箇所を視察
- 平成21年2月6日～8日 ・県外行政視察 ①福岡県岡垣町・6次産業化 ②福岡県議会で新潟・福岡線接続促進
③大分県刈田町の工場誘致 ④豊後高田市・昭和の街おこし ⑤別府温泉の湯治場復活など

【総務文教委員会】平成20年6月～平成21年5月 ・平成22年6月から現在

- 平成20年8月25日～26日 ・県内行政視察 ①国際情報大学の語学教育 ②石打丸山の県営ジャンプ場
③魚沼市体育館の国体対策
- 平成21年2月4日～6日 ・県外行政視察 ①札幌市ドーム球場の運営 ②小樽市移住促進事業
③歌志内市・財政再建 ④札幌市立大学の運営
- 平成21年6月15日～16日 ・県内行政視察 ①新潟県政記念館・指定管理 ②新潟市立中央図書館の運営
③村上市・さんぽく体験交流企業組合 ④県立村上中等教育学校の運営
- 平成22年10月27日～29日 ・県外行政視察 ①秋田県国際教育大学 ②あきた総合支援エリア
③横手市のB級グルメ ④岩手県盛岡市の都市ブランド化 ⑤平泉世界遺産登録に向けた運動

【厚生環境委員会】平成21年6月～平成22年5月

- 平成21年10月15日～16日 ・県内行政視察 ①新潟市はまぐみ小児療育センター
②弥彦村・藤井商店の米粉生産 ③県立十日町病院の医師対策
- 平成22年1月27日～29日 ・県外行政視察 ①佐賀県立宇宙科学館・指定管理 ②有明海の再生
③公立八女総合病院 ④サッポロビール工場バイオ ⑤大分県・福祉法人太陽の家
- 平成22年4月19日～20日 ・県内行政視察 ①新潟県消費者センター
②福祉法人・村上岩船福祉会浦田の里 ③県立坂町病院 ④NPO法人きらら

特別委員会

特別委員会も、常任委員会と同様の目的ですが、県内行政視察は年1回です。実施した行政視察箇所は、次のとおりです。

【地域力向上・広域行政特別対策委員会】平成19年6月～平成20年5月

- 平成19年8月23日～24日 ・県内行政視察 ①妙高市・妙高ラインガルテン
②十日町市・桜花レスリング場 ③里山科学館
- 平成20年5月21日～23日 ・県外行政視察 ①徳島県上勝町・葉っぱビジネス
②香川県鳴門市・フィルムコミッション事業 ③高松市民間企業のスポーツ支援事業

【スポーツ振興・健康づくり特別対策委員会】平成20年6月～平成21年5月

- 平成21年2月9日～10日 ・県内行政視察 ①三条市・米飯完全給食 ②湯沢町の冬季国体対策
- 平成21年5月27日～29日 ・県外行政視察 ①岡山県・桃太郎スタジアムの運営 ②(株)林原生物化学研究所・健康食品研究
③広島市・マツダスタジアムの運営 ④広島県立総合体育館の運営

右頁に続く

【地域活性化・総合交通特別対策委員会】平成21年6月～現在

- 平成22年1月18日～19日 ・県内行政視察 ①佐渡汽船(株)の船舶事故対策 ②新潟トラスト(株)
③日本GTL技術研究組合 ④月岡温泉観光協会の温泉街誘客対策
- 平成22年5月17日～19日 ・県外行政視察 ①岡山県・両備ホールディングス(株)の公共交通新システム
②東広島市・酒蔵を活かしたまちづくり ③広島港・ポートルネッサンス21事業
④水島港・コンテナターミナル
- 平成22年9月6日～7日 ・県内行政視察 ①小千谷市クラインガルテン ②魚沼市観光協会・西福寺開山堂
③南魚沼市・北越急行(株)の運営

Ⅳ 「横尾ゆきひで」汗かき活動記から

これまでに行ってきた地域活動の一部をご紹介します。

●県政報告会

- ・各集落、地区や地域、団体などに、合同報告会を含め、年間（平均29回）を通して、実施しました。
- ・平成19年度 32回 ・平成20年度 26回 ・平成21年度 23回 ・平成22年度 34回

●市内現地見分

市内全域にわたり、地元の要請を含めて年間（平均29回）現地にて、県担当部局、市担当課職員、地元役員等と直接意見交換を実施してきました。活動のなかでは長年の要望が実り整備された箇所もあります。

- ・平成19年度 18箇所 ・平成21年度 35箇所
- ・平成20年度 31箇所 ・平成22年度 34箇所（12月末）



●要望活動

市内各事業促進期成同盟会等と合同要望など、これまでに計58回の要望を実施しました。個別では、矢代川架け替え、国道292号線、矢代川河川・砂防、白田切川等の整備促進を県担当部局に要望してきましたが、矢代川橋架け替えは県当局でも、長期閉鎖で大変迷惑をかけているとして、最重要箇所として対応してくれています。国道292号線も、予算増額となり工事も大幅に進んできました。



●相談事

各集落や団体などの様々な問題解決のために、相談に来られる方が増えてきました。初年度は6人でしたが本年は21人に増えました。可能な限り即調査し行動し、数日後には成否にかかわらず結果報告するようにしています。

●県内視察研修会

広い県内を市民の皆さんにも知ってもらおうと、山古志地区・刈羽・柏崎原発では地震災害箇所の復興状況。福島潟の水俣病記念館では、今なお後遺症に苦しむ人たちが多く新潟水俣病の発生原因と現状認識。最近では寂れ行く中心商店街の復興と町並み保存をしている村上市を訪ねて、街おこしについて考える。など、様々な観点から研修を実施しました。

●平成20年10月13～14日

【場所】山古志、刈羽、柏崎原発

【内容】地震災害からの復興
【参加者】63名



●平成21年7月12～13日

【場所】福島潟

【内容】新潟水俣病の実態
【参加者】83名



●平成22年度5月30～31日

【場所】村上市

【内容】村上市のまちおこし
【参加者】82名

